

アクティブで何が悪いの！？

～達人ファンドはここがチガウ！！～

2024年2月25日

セゾン投信株式会社

代表取締役社長CEO兼COO

園部 鷹博



セゾン投信株式会社 代表取締役社長CEO兼COO 園部 鷹博

P&G（プロクター・アンド・ギャンブル）などを経て、2007年さわかみ投信へ入社し資産運用業界でのキャリアをスタートさせる。2011年同社事業戦略本部長としてマーケティング、広報、コールセンター、セミナー活動などを統括し個人の長期投資拡大に従事。2013年ドイツ銀行グループの資産運用会社であるドイチェ・アセット・マネジメント入社。2015年同社クライアントサービス部ヴァイスプレジデント。2016年同社大阪営業所長に就任。銀行および証券会社と協業し個人向け投資信託の普及に努める。2018年セゾン投信入社。同社事業推進部長として販売会社経由での長期積立投資の拡大に従事。2019年同社取締役兼事業本部長。2020年6月同社代表取締役社長COO。2023年6月より同社代表取締役社長CEO兼COO。

みなさん！こんな風に考えていませんか？



初めての投資にはシンプルでコストが安いインデックスファンドがいい！



アクティブファンドはインデックスファンドと比べてリスクが高い！
アクティブファンドはインデックスファンドに勝てない！

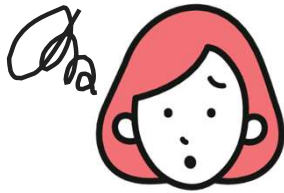
リスクが低い、ってほんと？

シンプルと目的の関係は？

一律コスト比較？

長期資産運用において『勝てない要素』って??

市場や相場を予測する・・・



テーマやブームを追いかける・・・

結果として高値掴みしてしまう・・・

でも、『勝てる要素』を満たせば勝率は上がるはず？！



世界各地域の良い企業を調べて買うこと！

グローバル企業にも！
ローカル企業にも！

高い参入障壁

優れた企業文化

ブランド力

不可欠な商品

優れた経営者

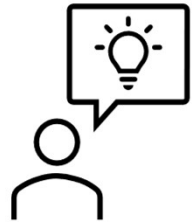
などなど

更に！

各個別企業の価値に着目し、
妥当な価格(高値掴みにならない価格)での購入を目指すこと！



そのために必要な力は？



企業を調査し分析する力

草の根リサーチ
力を活用！

長期でその企業の価値を
見出せる力

価値に着目し妥当な価格で
投資できる力



セゾン資産形成の達人ファンド

世界中から調べて買う！

～世界各地域のアクティブファンドを活用し良い会社の株式に選別して投資します～

世界各地域で良い会社を調べて買う!を目指します。

外部機関からの評価も頂いています！



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2023 WINNER
JAPAN

【9年連続受賞】

部門	リッパー分類	評価期間	賞
投資信託	ミックスアセット日 本円 フレキシブル型	10年	最優秀ファンド賞



ウェルスアドバイザーアワード
“NISA成長投資枠WA優秀ファンド賞”

しかも、10年連続受賞！

【10年連続受賞】



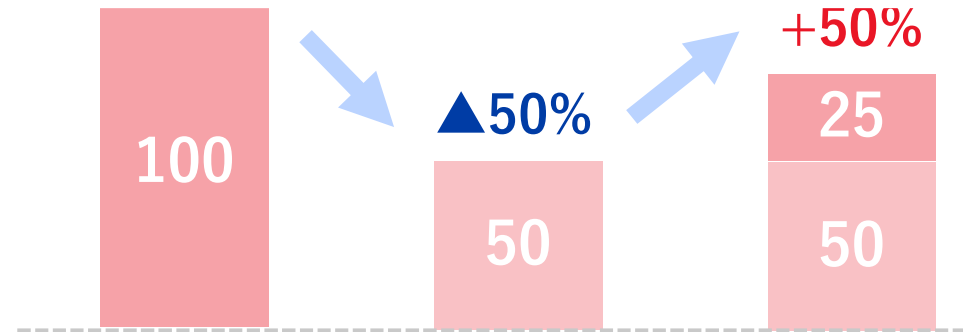
部門	カテゴリー	賞名
投資信託10年	外国株式コア	優秀ファンド賞

定量的に評価

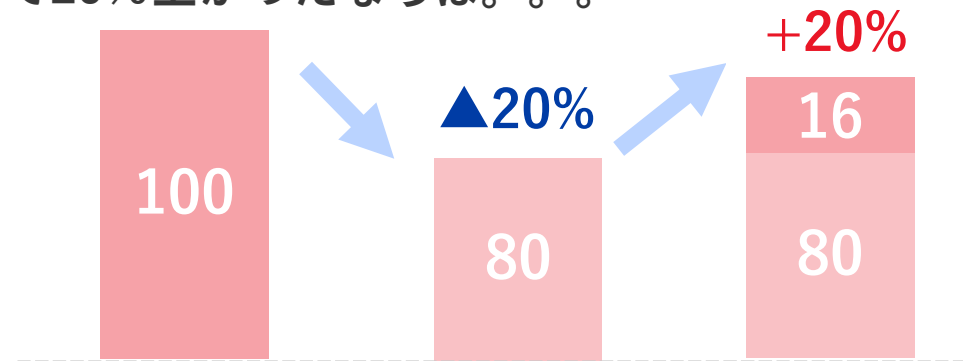
「R&Iファンド大賞10年連続受賞」は外国株式カテゴリーでは
達人ファンドのみ！

実は、長期運用では『下げ幅を抑えること』が重要！

- ✓ 例えば「100」が50%下がると「50」になります。その後、「50」が50%上がった場合は「75」となり、「50%」上がったとしても「25」しか上がらないことになります。



⇒もし20%下がり20%上がったならば。。。。



- ✓ 下がってから元に戻すには、下がった分以上の上昇が必要となります。
- ✓ この繰り返しが長期運用の結果に表れるのです。

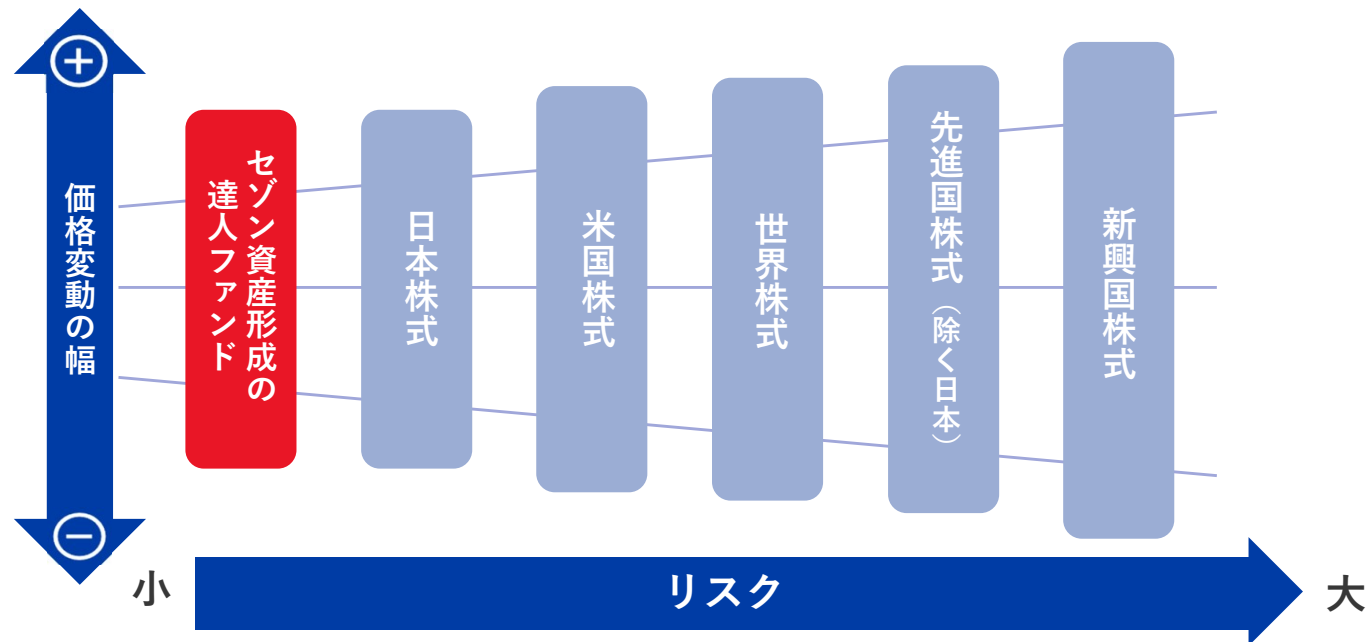
アクティブはインデックスに比べてリスクが高い！？

✓ 各市場を示す参考指数（インデックス）の年換算標準偏差

	セゾン資産形成の達人ファンド	日本株式	米国株式	世界株式	先進国株式 (除く日本)	新興国株式
2007年3月15日 ～2023年12月末	17.8%	17.8%	19.3%	19.5%	19.9%	22.7%

※2007年3月15日～2023年12月29日 円建ての株式指数（配当込・税引後）

世界株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、先進国株式（除く日本）：MSCIコクサイ・インデックス、日本株式：MSCIジャパン・インデックス、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス、米国株式：S&P 500 出所：Bloombergのデータをもとに、セゾン投信作成



上記はイメージ図であり、リスクの大きさを必ずしも正確に反映したものではありません。

達人ファンドの値動きの特徴

期間:2007年4月～2023年12月

参考指数に対する下げ幅（実績値）

84.1%

参考指数に対する上げ幅（実績値）

88.7%

参考指数：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス

参考指数に対する下げ幅のことを「**ダウンサイドキャプチャーレシオ**」
参考指数に対する上げ幅のことを「**アップサイドキャプチャーレシオ**」と言います。

参考指数が下落した月と上昇した月のそれぞれで、**当該ファンドが指数に対してどれくらい下がったか、または上がったかを示す指標**です。

本ファンドは、上記期間において、参考指数が下落した月にファンド指数に対して84.1%しか下がらず、参考指数が上昇した月にファンドは指数に対して88.7%しか上がらなかったということです。

違うんです！

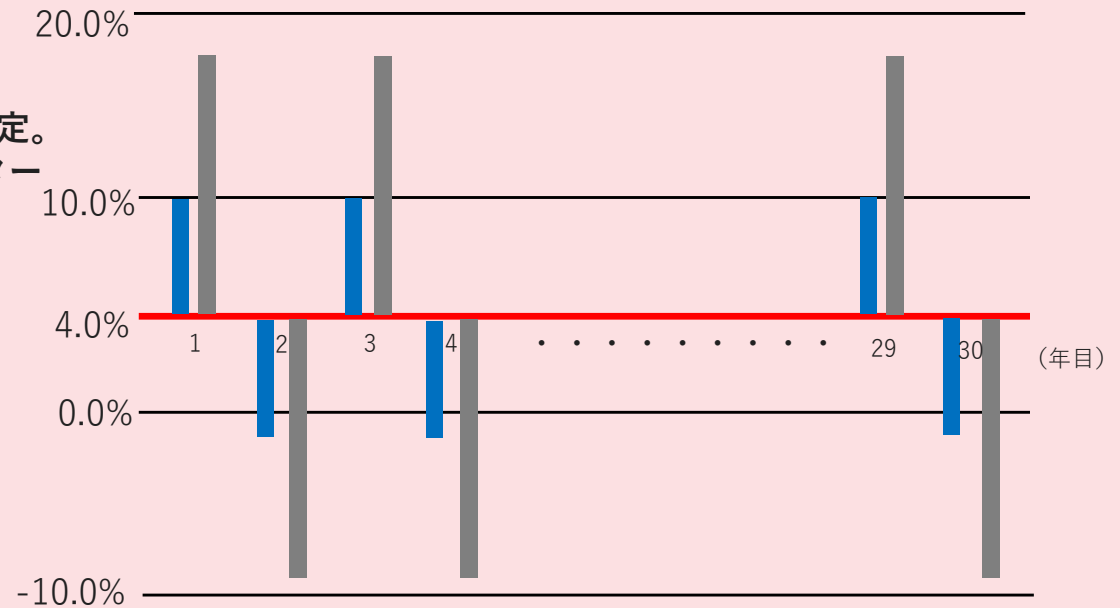
88.7%しか上がらないって悪いことじゃないの??

リスクと複利効果の関係

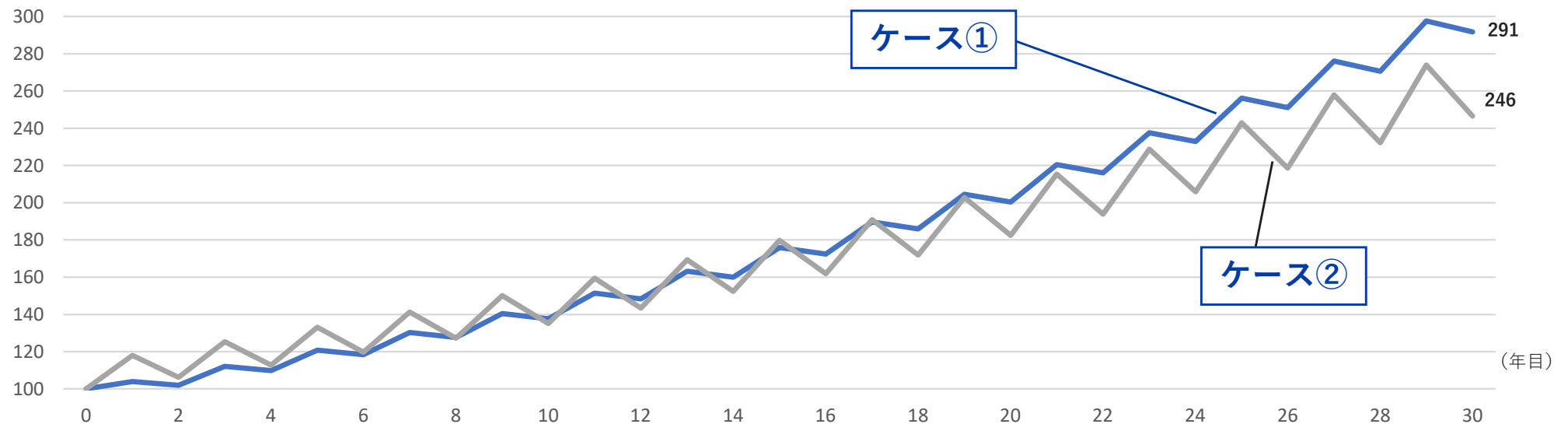
<前提条件>

- ・平均リターンが同じでリスクが異なる2つのケースを想定。
- ・1年目から1 σ （正規分布による発生確率約68%）でリターンが+と-で年ごとに推移。（右図イメージ）

	ケース①	ケース②
平均リターン	4.0%	4.0%
リスク	6.0%	14.0%



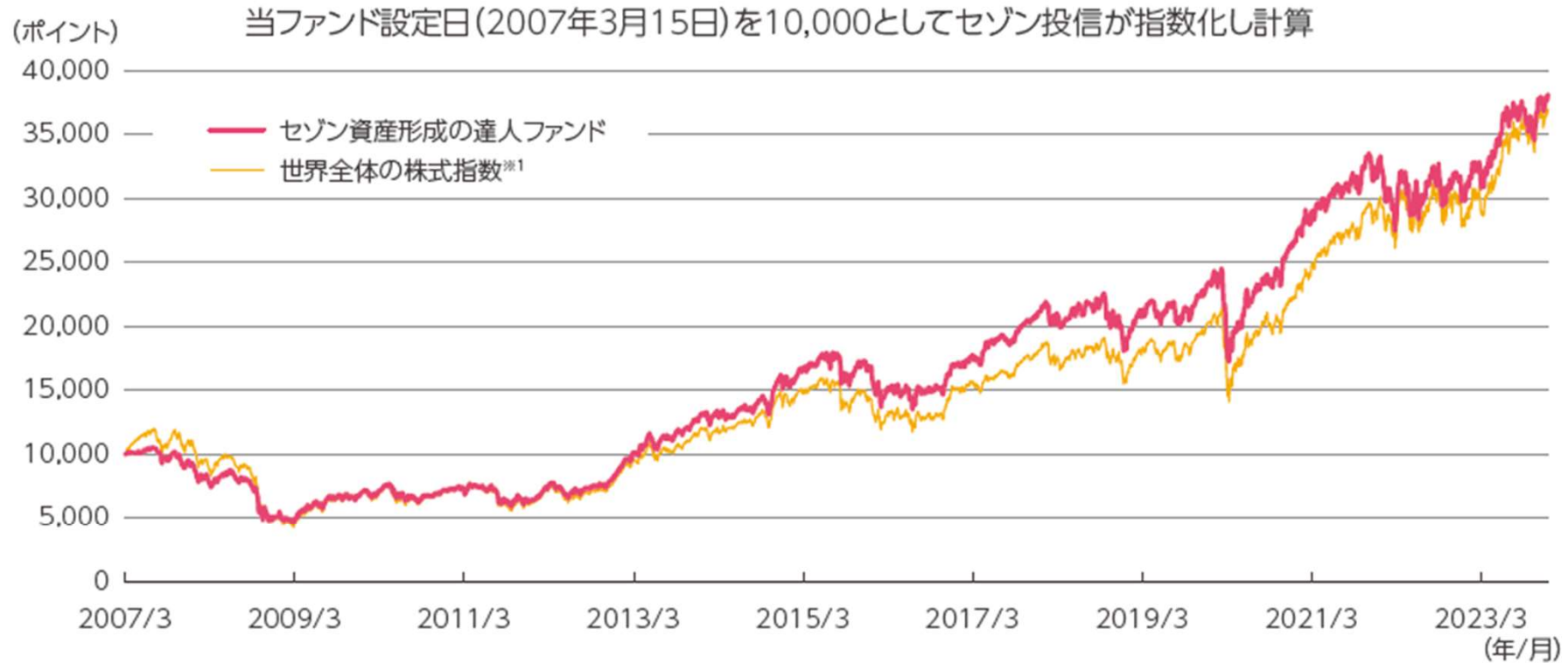
<累積リターンの推移>



同じリターンでも、リスクが高いと複利効果が抑制されることも

※前提条件に基づくシミュレーションであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

セゾン資産形成の達人ファンドの実績:基準価額等の推移(2007年3月15日~2023年12月29日)



※上図は当ファンドと代表的な指数を定量的に比較できるように作成したものです。当該実績は過去のものであり、将来の運用結果を示唆、保証するものではありません。

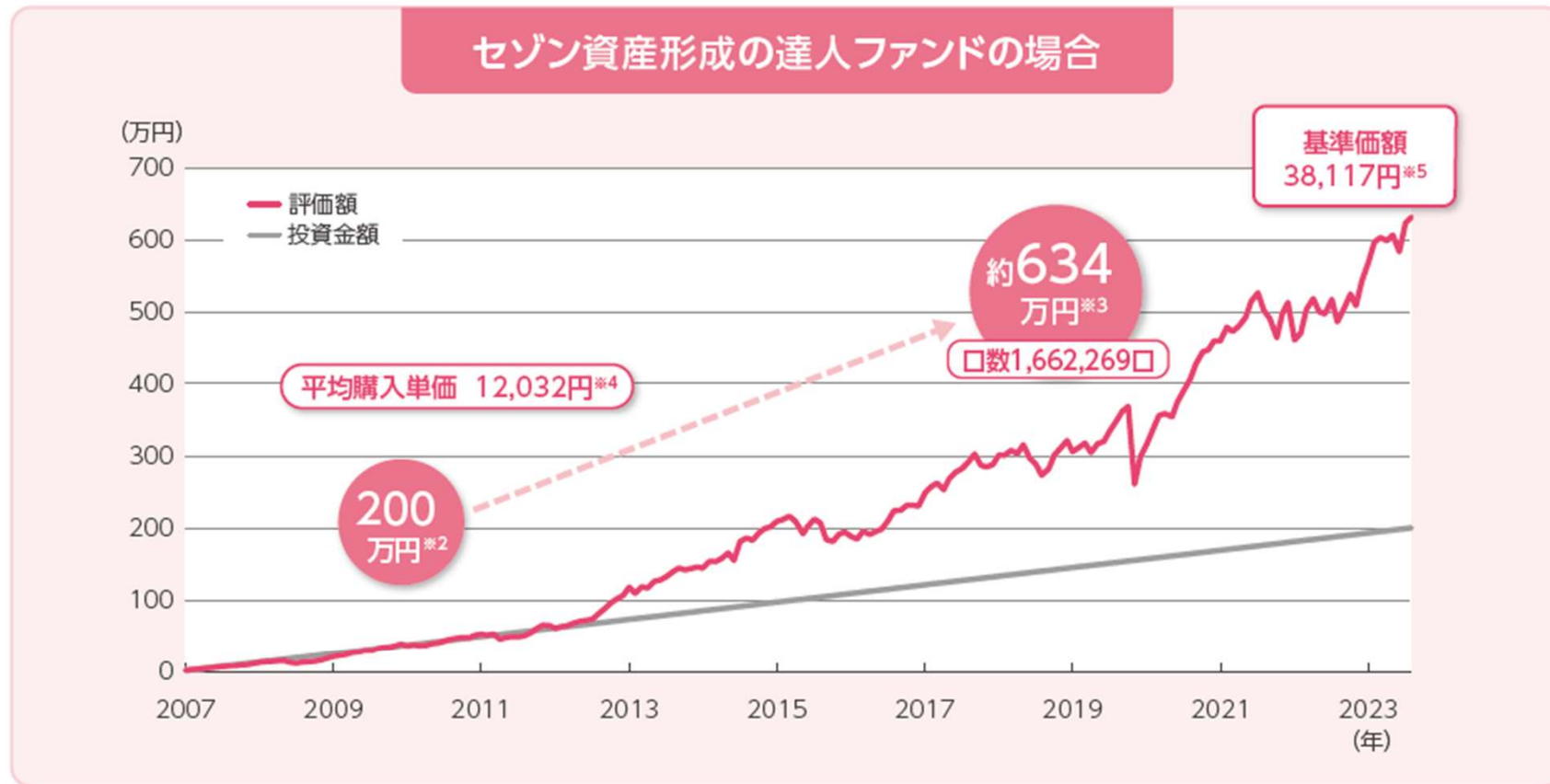
※1 MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算)

出所:Bloombergのデータをもとにセゾン投信作成

コツコツ積立をつづけると・・・？

2007年のファンド設定来から、毎月1万円の積立をかかさず継続していたら、どうなった？

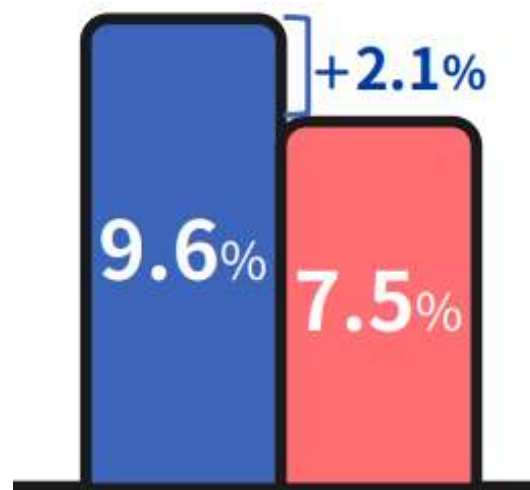
(2007年5月～2023年12月 毎月1万円ずつ積立投資した場合※1)



※1 毎月19日(休日の場合は翌営業日)の翌々営業日の各ファンドの基準価額で毎月1万円ずつ購入した場合の、2023年12月末時点での保有口数の評価額。口数の計算、評価額の計算および平均購入単価の計算では小数点第一位を四捨五入して算出しています。また、計算過程においては税金・手数料・費用等は考慮しておりません。積立による購入は将来における収益の保証や、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。また、値動きによっては、積立よりも一括による購入の方が結果的に有利になる場合もあります。 ※2 2023年12月積立時の累積投資金額 ※3 2023年12月末時点の評価額 ※4 上記※1の積立投資および投資期間における2023年12月積立時の平均購入単価(1万口あたり) ※5 2023年12月末時点の基準価額(1万口あたり)

上記は、積立投資の一例であり、積立投資が必ず利益があがること、一括での投資を上回る成果を保証するものではありません。
また、将来への成果を示唆あるいは保証するものではありません。

インベスターリターンとファンドのリターン (基準価額騰落率) を比較しました



セゾン資産形成の達人ファンド

- **インベスターリターン**：日々のファンドへの純資金流出入額と、期首及び期末のファンドの純資産額から求めた内部収益率を年率換算したもの。
- **基準価額騰落率**：ファンドの基準価額の変化率を年率換算したもの。
 - ・ 小数点第2位を四捨五入しております。
 - ・ 設定開始から2023年3月末まで年245営業日として年率換算
 - ・ 直販、公販を含む

インデックスに問題点はないのか？

指数の組入銘柄はあらかじめ定められた基準に従って、
機械的に採用・入れ替えが行われるが・・・



赤字企業にも投資することにならない？

将来有望な企業への戦略的な投資は
出来ないよね・・・

ESGにおける問題企業への投資してしまわない？
(化石燃料関連、軍需産業、人権侵害 など)

そもそも指数は公的な指標？！

費用について

◆購入時手数料

ありません

◆実質的にご負担いただく運用管理费用（信託報酬）

年1.34%±0.2%程度（税込）

当ファンドは他の投資信託に投資するファンド・オブ・ファンズですので、
実質的にご負担いただく信託報酬には当ファンドの信託報酬である年0.572%（税込）
と投資対象ファンドの運用管理费用等が含まれています。

◆解約時に必要な費用

信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額×0.1%

お客さまにご負担いただく費用の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

信託財産留保額とは？	・この金額*は、販売会社や運用会社などが受け取るものではなく投資信託の財産に組み入れられます。 ・ある投資家(受益者)の解約時にファンドに発生する売買コストなどの費用等を、解約する投資家に負担してもらう仕組みです。長期に保有する投資家にとって公平性を図る仕組みとなっています。 *換金申込受付日の翌々営業日の基準価額(1口あたり)×0.1%×解約口数(概算金額になります。)
実質的な信託報酬とは？※1	ファンド・オブ・ファンズ方式では、当ファンドと投資対象ファンドの両方に信託報酬がかかります。 実質的な信託報酬 = 当ファンドの信託報酬 + 投資対象ファンドの信託報酬

※1 ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理费用の料率の変更等により変動します。

【ファンドの費用】

投資者が直接的に負担する費用						
購入時手数料	ありません。また、再投資される収益分配金についても、購入時手数料はかかりません。					
信託財産留保額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額。					
投資者が信託財産で間接的に負担する費用						
運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	純資産総額×年0.572% (税抜 年0.52%)				
		信託報酬の総額は、日々の当ファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額の総額とします。 当ファンドの運用管理費用（信託報酬）および監査費用は毎日計算され、毎計算期間の6ヶ月終了日、および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。				
		配分	純資産総額 800億円までの 部分 (税抜)	純資産総額 800億円超の 部分 (税抜)	費用の内容	
		委託会社	年0.280%	年0.286%	委託した資金の運用の対価	
		販売会社	年0.200%	年0.204%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価	
	受託会社	年0.040%	年0.030%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価		
	投資対象 とする 投資信託証券	対象ファンドの名称			運用管理費用（信託報酬）年率	
		バンガード 米国オポチュニティファンド			0.85%	
		アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ			0.85%	
		BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト ※当ファンドに帰属する信託報酬等については、BBHとセゾン投信株式会社との個別契約により、保有残高が事前に定められた金額を上回った場合、右記運用管理費用の料率より低減された料率が適用されます。			1.00%	
		FSSAアジア・フォーカス・ファンド			0.85%	
		フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ			0.65%	
		コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)			0.88% (税抜0.80%)	
		コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)			0.99% (税抜0.90%)	
		スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>			10億円以下 0.825% (税抜0.75%) 20億円以下 0.770% (税抜0.70%) 20億円超 0.715% (税抜0.65%)	
		スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>			0.88% (税抜0.80%)	
		コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)			25億円以下 0.8558% (税抜0.778%) 25億円超 0.7458% (税抜0.678%)	
		費用の内容：投資対象ファンドにおける運用管理費用等				
		実質的な 負担額	年1.34%±0.2%程度 (税込)			
			※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。			

出所：セゾン資産形成の達人ファンド「投資信託説明書（交付目論見書）」（使用開始日 2023年9月9日）

ご留意事項【セゾン投信からのお知らせ】

ご留意事項

本セミナーは、株式会社SBI証券主催、セゾン投信株式会社共催にて開催するものです。

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資信託に関するリスクについて

◆基準価額の変動要因

セゾン資産形成の達人ファンド

当社の運用、販売する上記ファンド（以下、ファンド）は、ファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。また、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

◆其他のご留意点

投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。

お取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

投資信託に関する費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

セゾン資産形成の達人ファンド

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

ご留意事項【セゾン投信からのお知らせ】

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用：

セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.572%（税抜 年0.52%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.34%±0.2%程度（税込）となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

積立について

積立による購入は将来における収益の保証や、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。また、値動きによっては、積立よりも一括による購入の方が結果的に有利になる場合もあります。

NISA制度について

公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に限りNISAの適用対象となります。当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ご留意事項【セゾン投信からのお知らせ】

当資料で使用している指数について

- ・MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込）：先進国と新興国の株式で構成されています。
- ・MSCI日本・インデックス（配当込）：日本の株式で構成されています。
- ・MSCIワールド・インデックス（配当込）：世界の先進国の株式で構成されています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込）：世界の新興国の株式で構成されています。

上記は、MSCIが開発したインデックスであり、当該インデックスに対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

S&P 500はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。

「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークです。

ブルームバーグは、ブルームバーグ指数に対する一切の専有権を有しています。ブルームバーグは、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグはこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ご留意事項【セゾン投信からのお知らせ】

当資料で使用しているロゴについて

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com/>をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザーアワード「“新NISA成長投資枠”W A 優秀ファンド賞」は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2023年12月29日における『NISA成長投資枠登録のアクティブファンド』を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。セゾン資産形成の達人ファンドが選出された国際株式型（グローバル）部門は、選考対象ファンドのうち、同年11月末において当該部門に属するファンド307本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社（旧モーニングスター株式会社）

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国 Morningstar, Inc. へブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

当資料では

『セゾン資産形成の達人ファンド』→「達人」あるいは「達人ファンド」
と略することがあります。



商号：株式会社SBI証券（販売を行います）
金融商品取引業者、商品先物取引業者 関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一
般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、
日本商品先物取引協会

商号：セゾン投信株式会社（設定・運用を行います）
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- ご投資にあたっては、商品概要や目論見書（目論見書補完書面）をよくお読みください。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者、商品先物取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会、日本商品先物取引協会